

教育研究所だより

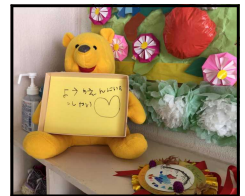
宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

令和3年度幼稚園教育課程研究協議会

今年度、幼稚園教育課程研究協議会(県教育委員会委託事業)の研究員として、仲地早苗先生(砂川幼稚園)、下地恵美先生(西城幼稚園)が「幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続」をテーマとして半年間の実践研究に取り組んできました。 研究主題↓

小学校教育との接続に向けた教育課程や指導方法の工夫について

今月30日(火)には公開保育と本研究における研究発表が行われます。それに先立ち本日は『第3回わくわく交流会』として砂川幼稚園の子ども達が西城幼稚園にきてのグループ活動をしていました。これまで子ども達は、「おもちゃ屋さん」「おすし屋さん」「れすとらん」「たからものやさん」の4つのグループに分かれ、秋の自然物を使ったお店屋さんプロジェクトを楽しむこと等をねらいに取り組んできたそうです。そして今日は、お友達と協力しながら自分たちのお店に必要なものづくりに没頭していました。その様子のかっこいいことかっこいいこと。



←『おもちゃ屋さん』おもちゃを買いに来た人へのおみやげ用の「わたあめ」づくりに取り組んでいます。その向こうの橋は…何でしょうか…。

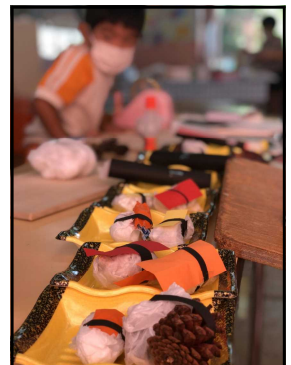


たくさんの料理をいろいろな材料をつかって作っていました。アイデアがすごいです。どんな料理ができたでしょうか。『れすとらん』→



←『たからものやさん』たからものやさんですよ！名前からして入ってみたいなお店です。何が売っているのでしょうか。

今回の研究では、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のあり方について、交流・連携・接続の視点から実践研究に取り組んできました。30日には、西城幼稚園で合同公開保育が行われ、午後から研究発表が行われます。学習指導要領が改訂され、育成すべき資質・能力(3つの柱)を幼児教育から高等学校まで見通しをもって育てていくためには、幼稚園での学びの姿を小学校の先生方のみならず、中学校の先生方にもみてほしいと思いました。(子ども達がかわいくてたまらないだけではありません。)



↑『おすし屋さん』今が旬のあの食材で…おすしを！？「回転寿司」ならぬ〇〇寿司。その発想の豊かさに、感動しました。